

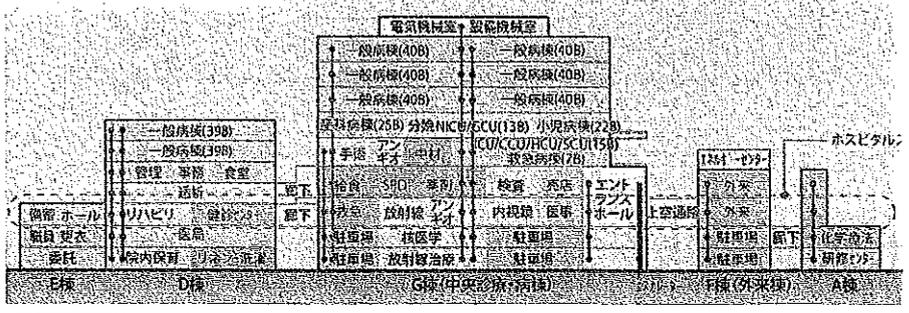
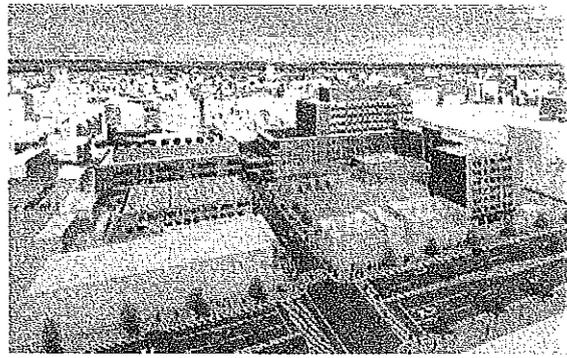
新しい
桑名市総合医療センター
について

平成26年11月29日(土)

桑名市総合医療センター理事長
竹田 寛

桑名市
総合医療センター
新棟

(病床数: 400)



2度の入札中止(12月、3月)

現在3度目の入札

新病院ができるまでの間、どうするか？

できるところからやっていく

桑名地域の医療における諸課題

- 1) 救急医療
- 2) 周産期医療
- 3) 小児医療
- 4) 「がん」の医療
- 5) 先進医療
- 6) 介護、在宅医療

救急医療

桑名市総合医療センター 桑名地域の救急医療

【参考1】桑名市消防本部の救急出場件数及び救急搬送人員

	平成23年	平成24年
救急出場件数	7,839件	8,231件
うち桑名市内出場分	5,482件	5,651件
救急搬送人員	7,478人	7,800人
うち桑名市内出場分	5,214人	5,364人
うち桑名市内医療機関搬送分	4,128人	4,190人
うち桑名市外医療機関搬送分	1,086人	1,174人

<出典> 桑名市消防本部

桑名市総合医療
センターへの搬送

3236人
(78%)

3392人
(81%)

桑名市総合医療センター

【参考2】桑名市総合医療センターの救急受入人員

	平成23年	平成24年
桑名西医療センター (桑名市民病院)	1,578人 (98.6%)	1,840人 (98.1%)
桑名南医療センター (平田循環器病院)	256人 (90.8%)	236人 (91.5%)
桑名東医療センター (山本総合病院)	1,402人 (79.5%)	1,316人 (86.6%)
合計	3,236人 (88.8%)	3,392人 (92.9%)

注 括弧内は、受入率(=要請件数に占める受入件数の比率)である。
<出典> 桑名市総合医療センター

桑名地域での救急医療体制(現在)

5病院での輪番制

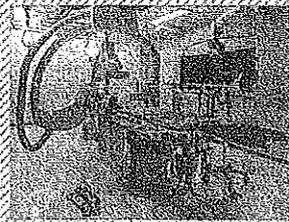
桑名東医療センター、桑名西医療センター、
青木記念病院、ヨナハ総合病院、森栄病院

脳卒中 → 西医療センター脳外科
心筋梗塞 → 東、南医療センター循環器内科

新しい血管造影装置の紹介 西医療センター 放射線室

血管造影装置は従来の検査主体の装置から、1台で検査・治療をおこなえるFPD採用のCT様画像が撮影できる、CTライクイメージングを搭載した装置に進化しています。

3月25日から稼働した西医療センターの新血管造影装置は、高度化する血管内治療に対応するシーメンス社の Artis zee BA Twinです。以下のように優れた特徴があります。



桑名地域での救急医療体制(将来)

桑名市総合医療センターに
ER型救急センターを開設

総合診療医、救急専門医を集める

来年1月、救急医1名着任

総合診療医(家庭医療医)

内科、外科、小児科、産科、皮膚科、
救急などあらゆる一次医療を担当
一次(二次)救急も担当

内科医

循環器、消化器、呼吸器など専門性を有する

周産期医療


 桑名市総合医療センター
北勢保健医療圏の人口、出生数

表1 北勢保健医療圏の人口、出生数

	人口*	出生数**
三重県	185万	15,080
北勢保健医療圏	84万	7,461
四日市保健所管内	31万	2,763
桑名保健所管内#	28万	2,419
鈴鹿保健所管内	25万	2,279

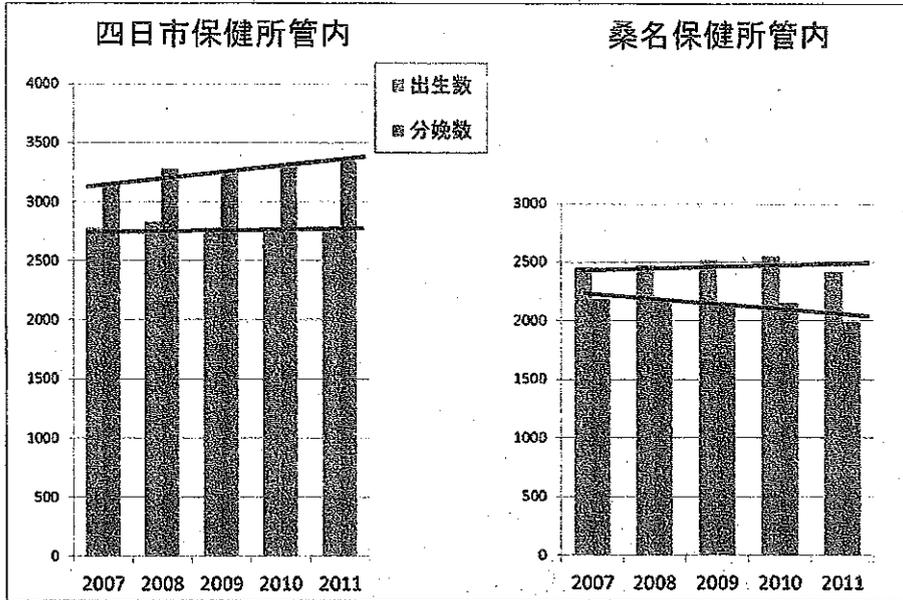
*2010年国勢調査

**2011年

#桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菟野町、朝日町、川越町

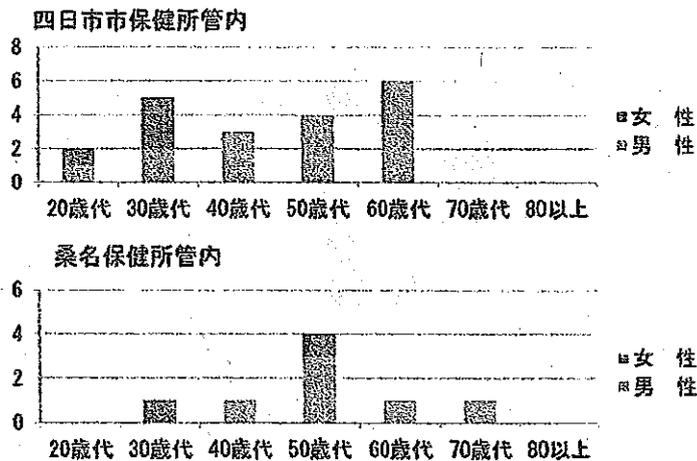
(石川薫:「三重県北勢保健医療圏桑名地域の周産期医療提供体制の現状と将来構想について」より引用)

桑名市北勢2地域における出生数と分娩数



(石川薫:「三重県北勢保健医療圏桑名地域の周産期医療提供体制の現状と将来構想について」より改変)

北勢2地域における分娩取扱施設の産婦人科医の年齢分布



2012年7月1日現在

図6 四日市、桑名保健所管内の分娩取扱施設の産婦人科医師の年齢分布
(石川薫:「三重県北勢保健医療圏桑名地域の周産期医療提供体制の現状と将来構想について」より引用)

周産期(新生児)医療

- ・平成26年4月より、三重大産婦人科の支援により周産期内科を設置(佐々木禎仁先生)
平成26年10月より産婦人科医2名追加
平成27年4月にさらに1名追加、計4名体制に
- ・平成26年5月から三重大産婦人科池田智明教授にも週一回外来診療をご担当いただく
- ・将来は新生児集中治療室も併設し、桑員地区における周産期医療の拠点病院へ。

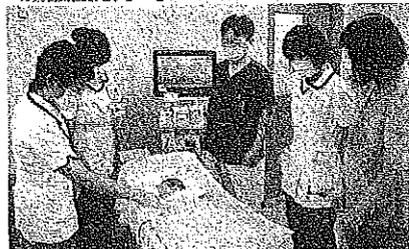
県報

桑名東医療センター

桑員に県内初の周産期科

集中治療室でスタッフに囲まれ、名男児と治療を担当した佐々木医師(右から3人目)。桑名市の桑名東医療センターで。

桑名東医療センター



出生時1068gの男児退院へ

桑名東医療センター(桑名市)で五月に体重一〇六八gで生まれた男児が二日、退院の日を迎える。桑名東医療センターは、この男児がハイリスクの出産から四日市津市へ搬送して、センターに搬送されたことを受け、県内初の周産期科が開設されたことを受け、記者が取材した。

周産期科は産科と新生児科の連携を担い、胎児を産む母の健康を管理し、産科の利益を確保し、子どもには有害な影響を「胎児出生前診断」の検査で検出でき、重症化を避ける。桑名東医療センターは、県内初の周産期科が開設されたことを受け、記者が取材した。

出生時1068gの男児は、桑名東医療センターで生まれた。桑名東医療センターは、県内初の周産期科が開設されたことを受け、記者が取材した。

出生時1068gの男児は、桑名東医療センターで生まれた。桑名東医療センターは、県内初の周産期科が開設されたことを受け、記者が取材した。

小児科診療

- ・平成26年4月より
小児科常勤医4人
- ・今後三重大学医学部
小児科からさらなる支援

 桑名市総合医療センター

「がん」の集学的診療

- 1) 内視鏡手術： 消化器内科、外科
- 2) 抗がん剤治療
- 3) ラジオ波焼灼治療、凍結治療
三重大IVR科 山門亨一郎先生
- 4) 放射線治療、核医学診断装置(新病院)

桑名市総合医療センター 人間ドックセンター

- ・従来、東、西医療センターに在った人間ドックセンターを統一して平成27年1月より東医療センターに設置
- ・医師: 竹田 寛(センター長)ほか5名
- ・がんの早期発見
胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん
- ・生活習慣病の予防
管理栄養士による栄養指導など

 桑名市総合医療センター

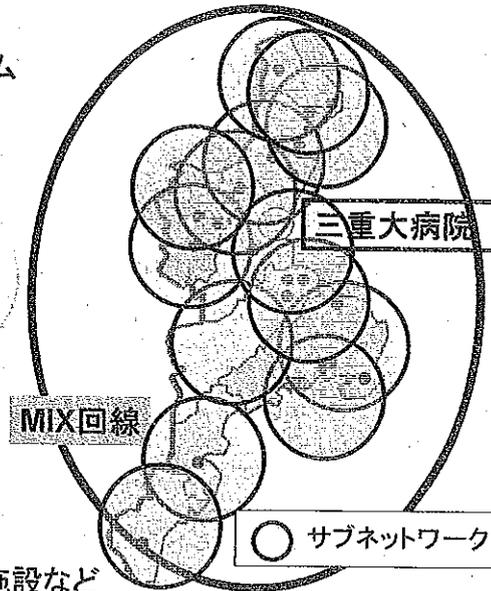
地域の基幹病院としての役割

- 1) 桑名市地域包括ケアシステム
病院、診療所(医師会)、介護施設、
在宅医療センターなどとの連携強化
- 2) 三重医療安心ネットワーク
県内の28基幹病院を高速専用回線(MIX)で結ぶ
さらに基幹病院は地域の診療所、介護施設、
在宅支援センターなどとサブネットワークを形成

患者情報の共有
災害時の連絡網にも利用

三重医療安心ネットワーク

桑名市地域包括ケアシステム



桑名市総合医療センター

先進医療の推進

三重大学病院
「臨床研究開発センター」
との連携強化

新薬の臨床治験
新しい医療器具の開発

三重大学
医学部
附属病院

緊密な連携

人事交流
医療人教育
臨床研究

桑名市総合
医療センター

桑名市総合医療センターのめざすもの

市民に信頼され愛される市民のための病院

- 1) 医療の質の向上
- 2) 医師会や他医療機関との緊密な連携
- 3) 患者さんのアメニティの向上

医療相談窓口の充実

患者給食の改善

売店、患者図書館などの整備

コンサートなどのイベントの開催

三重大病院栄養管理部
岩田 加壽子 先生

初期研修医数

	平成										定数
	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
東医療センター	3	6	4	2	6	6	6				10
西医療センター			3		3	2	3	9	10		10

若い医師が集まるようになりました

後期研修医数

	平成										合計
	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
東医療センター		1		1	1	2			4(1)		9
西医療センター							2	1			3

ご清聴有難うございました。
 少しでも良い病院を
 創るために頑張りますので、
 これからもよろしく願います。